

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：母子福祉費

事業名【新】子どもの居場所緊急支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 子ども支援係

電話番号：058-272-1111(内2688)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 23,827 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	23,827	0	0	0	0	0	0	0	23,827
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

原油価格・物価高騰により、ひとり親家庭や困窮している子どもの支援を行っている、子どもの居場所(子ども食堂や学習支援の場)に対する食料等の寄附が減少している。

県の子どもの居場所へのアンケート調査では、「食料の寄附が減少した」と40.6%が回答し、さらには「今後の活動に影響が生じる」と55.1%が回答しており、子どもの居場所の運営継続に支障をきたしかねない状況である。

子どもの居場所は子どもの孤立・孤独対策の重要な拠点であり、原油価格・物価高騰による困難な状況下であっても、継続的に運営できるよう速やかに支援を行う必要がある。

(2) 事業内容

- ・子どもの居場所に対して食料を提供し、事業の継続を支援する。
- ・子どもの居場所とのネットワークを有し、県内全域を網羅した活動ができる者に委託

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	23,827	子どもの居場所に対する食料等の提供
合計	23,827	

決定額の考え方

既存の支援制度の有効活用を図ることとし、本事業の計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次岐阜県少子化対策基本計画

第4章IV 子育てに優しい社会づくり

(4) 子どもの貧困対策の推進

(2) 国・他県の状況

埼玉県で類似事業を実施

(3) 後年度の財政負担

今後の物価や国の動向を注視していく。

(4) 事業主体及びその妥当性

緊急的に県内全域の子どもの居場所に対し支援するものであり、全県的な支援が可能な県が実施することが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

物価高騰等の影響により、寄附が減少している子どもの居場所に対し、必要な食料等を提供し、事業の継続を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

物価高騰等による影響を踏まえた緊急的支援であり、指標の設定はなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 適切に支援を実施できるよう、子どもの居場所の活動実態を把握していく。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の物価高騰、国の動向を注視していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】